

事務事業名	担当 (部・課・係)	判定別数 ※1	評価判定 ※1	主な理由・内容	付帯意見 ※2
自主防災組織育成事業	総務部 総務課 地域安全係	改善:3 継続:3 拡大・拡充:2 統合・縮小:1	改善	発生が予想される災害は地域ごとに異なるものであり、直面する状況も違ってくるものと考えられるため、地域ごとに最も可能性が高いと思われる事態についての市民への啓発活動を並行し、事業を進めていただきたい。	・防災説明会に関しては、自治会からの開催依頼を待つだけでなく、市から自治会を指定して開催するなどの手段を取るべきである。 ・各自治会に対し、緊急時連絡体制の構築を依頼するとともに、各自治会の実情の調査をお願いしたい。
市営バス運行事業	総務部 総務課 庶務係	継続:9	継続	現行の取組は妥当である。車を持たない高齢者や学生・生徒の移動の手段として、継続しなくてはならない市民サービスである。	・今後、団塊の世代の市民が、自家用車からバス利用にスムーズに移行できるような対策と、バスの小型化による無駄のない運行をさらに進めていただきたい。
ファミリーサポートセンター事業	民生部 社会福祉課 児童福祉係	継続:4 改善:2 休止・廃止:1 民間:1 統合・縮小:1	継続	現行の取組は妥当である。子育て支援の一環として、継続すべき事業である。	・事業の積極的なPRが必要である。 ・今年4月に新設された「あがの子育て支援センター にこにこ」で同様のサービスを提供できるのではないか。 ・サービス提供会員が増加しないのであれば、関連事業への移行を進めていただきたい。
緊急通報装置貸与事業	民生部 高齢福祉課 高齢福祉係	継続:7 改善:1 拡大・拡充:1	継続	現行の取組は妥当である。高齢者のみの世帯が増加していることから、必要な事業である。	・利用者負担額は、利用者世帯における毎年度の市民税の課税状況に基づいて判定しているが、家族スタイルの多様化が進む現在にあっては、近所に住む子世帯等の収入も勘案すべきである。 ・今後、事業費の拡大が見込まれることから、利用者負担及び対象者範囲の検討が必要である。
スポーツ振興事業	民生部 生涯学習課 市民スポーツ係	継続:7 改善:2	継続	現行の取組は妥当である。運動に親しむ市民が増えるには、子供の頃からの取組が必要であり、親子や地域のコミュニケーションを図るうえでも重要な事業である。PTA等と積極的に協力し、事業を進めていただきたい。	・もっと活発な事業が進められるよう、予算面を配慮いただきたい。 ・健康推進課の所管事業と内容の重なりがあると思われる。目的達成のための事務の効率化といった観点から検証いただきたい。
安全安心農産物生産推進事業	産業建設部 農林課 農林振興係	継続:6 休止・廃止:2 改善:1	継続	現行の取組は妥当である。市内で生産される堆肥を活用した耕畜連携による土づくりや、農産物の販売面における差別化のために重要な事業である。	・堆肥の散布時において、付近住民に臭気の影響が及ばないよう、関係者に対して堆肥の品質管理を徹底されたい。
環境保全型農業直接支援事業	産業建設部 農林課 農林振興係	継続:6 改善:3	継続	現行の取組は妥当である。堆肥散布による土づくりを行う農業者に対し、その費用の一部を助成するという点において安全安心農産物生産推進事業と一致する事業内容であるが、助成の条件等が異なっていることから両事業の並行は必要である。	・農業者に対する助成額がより手厚いこと及び国県からも事業費の補助があることから、農業者に対しては当該事業への誘導をさらに進めていただきたい。

(注)  
 ※1『判定別数』と『評価判定』について  
 「阿賀野市行政改革推進委員会」の各委員(委員長を除く。)によって選択された判定区分の数を記載しています。(「休止・廃止」、「民間」、「継続」、「改善」、「拡大・拡充」、「統合・縮小」の区分より選択したものです。)また、『評価判定』については、各委員の多数意見により決定しています。  
 ※2『付帯意見』について  
 評価作業当日における各委員の意見や議論の内容等を踏まえ、評価対象事務事業の実施にあたって考慮すべき改善点等について、「阿賀野市行政改革推進委員会」の総意として整理した内容を記載しています。